

平成 31 年 4 月 12 日
 (公財) 横浜市緑の協会
 よこはま動物園

テングザルの赤ちゃん 愛称が「ココ」に決定しました



ココと母親のクナントゥー（平成 31 年 4 月 5 日撮影）

平成 31 年 1 月 15 日（火）によこはま動物園ズーラシアで誕生したテングザルの赤ちゃん（オス）の愛称が「ココ」に決定しました。3 月 30 日（土）～4 月 7 日（日）に行った来園者の愛称投票で、総数 781 票のうち、「ココ」は最多の 421 票を獲得しました。好奇心旺盛な「ココ」にぜひ会いに来てください。

順位	愛称候補	由来	票数
1	ココ	丈夫に育てて欲しいという願いをこめて、インドネシア語で「頑丈な」という意味から	421
2	ニコル	若くして急逝した兄、ニコの愛称から	223
3	イゴ	15 日生まれにちなんで	118
		無効票	19
		合計	781



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先
よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■テングザルについて

和名	テングザル
英名	Proboscis Monkey
学名	<i>Nasalis larvatus</i>
分類	霊長目 オナガザル科
分布	ボルネオ島沿岸部
生態	インドネシア、マレーシアに属するボルネオ島のみで生息するオナガザルの仲間。主な生息地は海沿いのマングローブ林や川沿いの湿地林で、一部は川沿いのかなりの上流部（標高245m）にも生息する。主なエサは木の葉で、特に若葉を好む。おとなのオスは大きな鼻が特徴で、食事の時には邪魔になることもあり、時々片手で鼻を押し上げながら食べ物を口に運ぶことがある。何のために大きいのかは正確には不明だが、メスに対するセックスアピール、または大きな声を出すための共鳴器とも言われている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	EN (絶滅危惧 I B 類) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
飼育状況	国内：よこはま動物園のみ 5頭（オス2頭、メス3頭）※今回生まれた子を含む 海外：スラバヤ動植物園（インドネシア）、タマン・サファリ・インドネシア、シンガポール動物園など ※平成31年1月15日 現在

■よこはま動物園の飼育状況

愛称	性別	年齢	特記事項（血縁、繁殖歴など）
ゲンキ	オス	16歳	2003年 4月11日生まれ、今回の繁殖個体の父親
キナンティー	メス	15歳	2004年 2月17日生まれ、今回の繁殖個体の母親
エミ	メス	3歳	2015年 12月22日よこはま動物園生まれ
ジャスミン	メス	2歳	2016年 5月11日よこはま動物園生まれ
ココ	オス	0歳	よこはま動物園生まれ、今回の繁殖個体

(平成31年4月12日 現在)

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート（18歳以上）2,000円
 - ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
 - ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園） ※3/20～5/6までは無休
 - ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
 - ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
 - ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
 - ◆問合せ先：045-959-1000
- ※よこはま動物園ズーラシアは、2019年4月24日に開園20周年を迎えます。